

【概要】

2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第2回)

I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2015年7月～2015年10月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。(回答数:1,039件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」の利用割合は29.8%と減少、「変動型」は43.2%と増加<p. 2>

- ・「全期間固定型」の利用割合は、29.8%(前回調査:38.0%)と減少
- ・「固定期間選択型」は、26.9%(前回調査:26.3%)と横這い
- ・「変動型」は、43.2%(前回調査:35.8%)と増加

(注)本調査項目は、隔月に速報として公表している「金利タイプ別利用状況」を、4か月ごとにまとめて確報として集計したものです。

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が増加<p. 9>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が53.0%(前回調査:50.6%)と増加

3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が圧倒的多数<p. 14>

- ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が64.6%(前回調査:59.3%)と圧倒的多数
- ・「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかったから」は、11.3%と前回の3番目から6番目へ低下